十九日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報 一行 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平） 七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
發行所 福島縣平市田町十六番地 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

忘らむと野ゆき山ゆきわれ來れどわが父母は忘れせぬかも（防人の歌）

# 閑伽井嵐

## 生活の綠地

高木稻水

磐城文化協會主催の藝能文化祭が來る廿七日に平市公會堂で花々しく幕をあける事になつてゐる

時局がこれ程迄に緊迫して來たのに藝能祭とは何事ぞ、一種のお祭り氣分で騷ぎ廻つてゐるとは非常時をわきまへぬ怪しからぬ行動である抑も文化協會の仕事とは農村で映畫をやつて歩いたり或は市內映畫館の映畫を推薦したり、藝能祭をやつたりする事であるのか？かうした非難もないではない。

文化協會の役目とか目的とかはむづかしくいへば種々とある、しかし私はゆがめられた日本精神を純化する事が現在の國民文化運動の重心であると同じく都會文化の中毒から地方文化を救ひ出し、鄉土文化の健全性をとりもどす事が地方文化運動の重點であると信じてゐる。

しかし私は現代のやうに切端つまつた何もかも抑へつけられ、押しつぶされてゐるやうな國民生活銃後生活に健全明朗な氣分をふきこんでやる事も文化協會の大きな仕事であり、文化協會以外にこの役割を果すものはないと信じてゐる。それは文藝運動、健全娛樂指導運動でありこの息づまるやうな生活の中に潤ひを與へることであり、砂漠の中に綠地を與へることである。戰地にある將兵を思へ！そこに何の娛樂があるか。しかし銃後が前線同樣に息づまるやうな生活を續けて果して長期戰に堪へ得るか。

藝能祭がある、映畫會があるとなるとそれに出る者及その周圍及それを見る者にどれだけ明るい期待を與へるか知れぬしかも決してそれに依つて銃後の緊張が弛むわけではない。

# 我が國「武」の變遷

（九）

山名隆之

幕府の勢力は義滿の死後、しだいに下り坂になるが、かゝる形勢に乘じて、下剋上の氣風は地方爭亂の原動力となり、ここに群雄割據の戰國時代は現出する。實に普天の下、率土の濱、王土王民にあらざるはなき日本の津々浦々が小英雄の割據戰場と化し、兵亂の巷と化したのである。足利幕府の無責任ここに至つて窮れりといふべく、私武の極地ここに於て窮れりといふべきである。而して彼ら群雄は何らの考ふるところもなきが如く、まるで犬猫の如く振舞ふのである、之を稱して弱肉强食といふ。弱肉强食とは人間のなす業ではなく人間以外のなす業である、人間以外のなす業を敢て人間がなしたのである、果して夫れ、人間の罪か、世の罪か、時の罪か、知らず、只彼らはなしたことは事實である。

神代より天日いまだ地に隨ちず然るに天日は天變地妖の使すところとなつて幾度墮ちんとせしか。實にハラハラすることさへあつたのである。併し遂に天日は墮ちずあな畏し、この間 御歷代の 天皇の御仁德は申すも畏き極みである。實に如何に妖雲妖氣天を蔽ふとも、天つ日の御光りには毫も變化はなかつたのである只天つ日の御光りを閉す妖雲妖氣のため、御光の姿を拜することが一兩ならず杜絕せしめられたことは遺憾千萬であり、これは皆不屆千萬なる私武の仕業であつたのである。

應仁の大亂はかゝる紛爭を一個のるつぼの中に投入した。戰ひ實に十一年に及ぶ。この大亂のため〃京都はすつかり燒野原となつたあがる雲雀を仰いでは落淚數行ありし詩人もあつた位である。

かゝる折、皇室の御式微は殊の外で、御料所より奉るべき年貢も納まらず、皇居は荒れ果て、伊勢皇大神宮の式年遷宮も絕えることゝなつた。さる物語によれば、皇居の御灯は遙かより見えたほどであり、公卿は着る衣服もなく蚊帳を纏うて人に面會したといふ、吾吾はの事實をまことゝ思へるであらうか、併しながら、かゝる折とて心なき者のみが全國に蔓つてゐたのではなかつた。長き戰亂に絕望し、之を脫して新しき機運を呼び起さんとするものもあつた又皇室の有難さをかゝる時にこそしみ〲と感じたものが居つた。後土御門天皇崩御の時近江の六角高賴が御大葬の御料を獻じたと、後奈良天皇が即位の大禮を擧げさせられた時周防の大內義隆、越前の朝倉敎景、駿河の今川氏輝、相模の北條氏綱らがそれ〲獻金してお翼け申上げたとなどその一例である。これらはいづれも泥中の蓮であるが、謂はば新機運が舊社會の沈滯、腐敗から蟬脫して新らしき時代に羽搏かんとするものであつた。この代表的人物が即ち、織田信長である。

# 文協の仕事

## 三、川前行き

高木稻水

もしもお禮を出すから是非來てくれと役場から交涉があつたとしたら恐らくはお醫者さんや辯護士はおいそれとは應じてはくれまい然るに文化協會の仕事となると無報酬で汽車賃自辨で出掛けて行つてくれるといふのは抑も何故だらう。事變下誰にも皆分に應じて職域奉公をして見たいといふ熱意にもえてゐるのだ。しかも我々は政府から他人からの依賴を受けたのではなく自ら進んで無報酬で働く所に限りない喜びをおぼえてゐるのだ。個人の創意を生かせ、下から盛り上る力を育てよといふのはこのことである。我々は皆立派な日本人なのだ。無闇に上からの命令計畫を押しつける事はこの意味で充分に考慮さるべきであらう。

渡邊校長は嘗つて平第二校にいらつしやつたとかで大嶺さん渡邊さん等と平の今昔談に花が咲く。三十分ばかりお茶を啜りキャラメルを摘みながら雜談して、午後四時から愈々目的の健康相談を開始した。場所は二階の裁縫室。ひどく見晴しの好い綺麗な室だ。大嶺さん增田さんの方は相手がないので職員室で助役さん校長さんと話を續ける「いやなくて結構です。兎に角經驗ですからね。矢張平に相談所を作るのですね山形市なんか昨年は四百件も相談があつたさうですから……。法律の民衆化運動ですね。……」大嶺さんが話し出すと增田さんが靜かに笑つて聽いてゐる。その中に內木先生が歸つて來た「どうでしたときくと「いや、僕の方はお客さんがないから切り上げましたよ。五人位あつたかな、矢張內科小兒科が多いですよ」と答へる。かうして辯護士さん達と內木先生は五時すぎの汽車で歸られた。

法律相談所は開店休業の狀態であつたが、人生には何一つ無駄はない筈だ。無駄と見えるのは人間の狹い價値判斷だ。砲兵が敵陣を打つ時は最初の二三發は目的物に對する標準をきめるための無駄彈である。しかしそれに依つて遠近左右が決定されて正確な着彈に導かれるのである。

## 新刊紹介

△交響曲史 森本覺舟譯 定價一圓八十錢 理想社 著者マーカム・リイは英國の音樂家である

△伏流 谷鼎著 定價三圓 八雲書林 著者の歌集である

（マルトモ書店着荷）

# 異人劍法

【33】

（[illegible]上演上映）

車谷弘

下山望東畫

## 水晶商人（七）

『さア、そろ〲行かうぜ』

と鍋田の嘉吉は、一同に顎をしやくつて立上つた。

『ちやアまた下田であふかもしれねえ、水晶屋さん』

『まア、待つておくんなさい。船源一家がこれつきりなんて、冗談にしても氣にかゝらアねえ、冗談でせう』

『冗談……』

と嘉吉は笑つて、

『昔の船源一家を知つてゐちやア冗談と思ふのも無理はねえが正直正銘の話なのだ。親分が亡くなると、薄情なもんで、身內は次第にてんでんばら〲、今ぢやアすつかり繩張りも、大浦の岩太郎にとられてしまつた。船源一家に見切りをつけて大浦の盃をもらつた奴せえあるんだから、人ア落目になりたくねえものさ。殘つた者はたつたこれだけ、これだけが親分の、忘れ形見のお絹さんを護つてとゝゐるんだ、瘦せてもかく船源一家を立て枯れても船源だからなア』

『御もつともで……』

と巳之助は頷き乍ら

『そうでござんしたか お可哀さうなお孃さん お絹さんておつしやるんですか』

『うん、男に生れて來なさりアよかつたが、あひにく女だ、それもいゝ御器量と來てゐるから、間違ひでもなけりやアいゝがと、俺等ア心配してゐるのさ。あはゝゝゝ』

と嘉吉は煙管を叩き煙草入れを腰にさして

『下田へ來たら訪ねて來ねえ、ぢやア別れるぜ』

空駕籠をとりまいた船源一家の人々は、再び峠を北へさして向つた。乾いた道に白い埃が舞ひあがつた。

巳之助と初音はならんで、一行を見送つてゐた。

木立の間に駕籠にチラ〲と見えかくれてゐたが、やがて森蔭に消えて行つた。

（お絹さんか――）

すると、巳之助の眼の前に、昨夜湯ケ野の湯ぶねの中で、かいまみた美しい娘の顏が、歷々と浮んで來るのだつた。薄暗い雪洞の灯にゆらめいた、白い肌のなまめかしさも……。

いつまでもぼんやり立つてゐる巳之助を、初音は心細さうに

『黑船は歸つたんですつてね』

ハッと我にかへつてうろたへながら、

『その方がいゝでせう……、さア參りませうか』

『はい』

しかしひとりでに、初音の足は重くなつてゐた。

（新九郎樣にあへばいゝが……）

と念じつゝともすればうなだれ勝ちになるのだつた。

その樣子に、巳之助は目ざとく氣づいて、

『なアに狹い町だ、すぐ分りますよ。私の村は下田在、汚い家だがお袋がたつた一人きりですから、よろしかつたら足場にして、ゆつくりお探しなさるといゝ、及ばずながら私も水晶賣りの稼業柄、また何かとお役にも立ちませう。出來る限りはお力にもなりますから御心配にやア及びません』

と勵ましながらも、巳之助の心は妙に、船源一家の今の話にこだはつてゐるのだつた。

『有難う存じます』

『さア下田までは一息だ、元氣をお出しなせえ』

いつでも平市紺屋町
醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
番話六八番

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町 鵜沼孝昌

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
松村醫院外科部（平市南町）
醫學博士 松村孝

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定 處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635（呼）

產科、婦人科
井坂醫院
（見習看護婦入用）
平市田町 電五五九

大衆向きの小口保險
三百圓より大口契約も
好條件で外交員募る
板谷生命保險株式會社
小名濱代理店 比佐政種

本場特選
スッポン
肺、肋膜、心臟 胃腸の弱い方も 血となり肉となる
生スッポン 生血・生膽
平市六丁目本町通り
養龜所 平市正月町一番地
岡崎スッポン店

內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
平市大町
外科 內木醫院
醫學博士 內木宗八
電話七九番

乘合 貸切 馬車御案內
乘合區間平、夏井間 平發午前七時 午前九時、午後一時 午後四時の四回
貸切馬車 は新体制下に於ける乘り心地よき快適な仕立
運行は朝の六時から夜間は十時まで
料金市內七十五錢、市外四キロ二圓五十錢一キロを增す每に一圓增
大河原トラック部
同 乘合馬車部
平市大町 電五七六

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
院長醫學博士 金磯五郎
郡山驛より約三丁 安積中學より五丁 郡山市外大槻村針生
（電九二五）

御會食に
御商談に
割烹 幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

外科一般、內臟外科
性病科、肛門病科
▽入院應需△
木村外科醫院
木村淳
平市南町（警察署通り角）
電話三〇九番

おでん
茶めし
平市新田町
電話三三番

星チエーンストア支部
醱酵する際に死滅し易い酵母と異り・ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは・生存力が極めて强く・服用後・胃腸內でどんどん增殖し・强力な消化酵素を產生する特徴を有して居ります。――故に・効果は持續的・且つ强力であります。何よりの證據は・食慾が增し・快い便通が得られることです。
郵券十錢で・五日分六十錠の試服藥を急送す
東京・五反田 星製藥株式會社
全國各藥店に有り
M9
ミクローゼ

國民擧つて防火塗裝を！
回危險に曝露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長
專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
大量使用の御注文並團体的御申込へは實驗の御希望に應じます
カタログ進呈
山田文一商店
平市仲町通り 電話二六二番地

萬年筆は專門店へ
事務に!!!
進學に!!!
御祝に!!!
（公）2・00 以上
岡萬年筆專門店
平市中央通り

良いミシン一台買つて衣服更生
一台のミシンで浮ぶ家庭の經濟
追從を許さざる斯界の權威
ミシン界の王座
ミシン界の明星、
代表的國產
シンガー
アサヒ
精研舍
ニッポン
トーア
ナショナル
ブラザー
迷はず…迷はされずに安心して買へるミシン
◎型錄進呈
¥190＝
外交員なし
信用確保 直接販賣
平市驛前田町
常磐特約販賣代理店
シンガーミシン商會

カメラはモギ
現像 燒付 引伸
カメラ 賣買 交換
平市中央通り
茂木カメラ店

時局下健康に留意しませう
（体力の增進 疾病治療）に効果ある當鑛泉を御利用下さい
休暇利用の御家族御同伴で御試浴を
赤井村大倉
赤井鑛泉へ
主治…胃腸障害、背髓病、痔疾、神經痛
効能…リューマチス、打撲傷、婦人病、皮膚病、外傷性諸障害
【女中さん入用】
御費用の點は時局下を考慮特に勉强致します

## 商工會議所 設立愈具体化

### 經濟機構强化に對處

平商工會議所の創立問題は市制實施と同時に調査研究を進められて來たが、有資格者が所定の數に達せず爲に經費關係と事變を考慮に入れて一時足踏みの形にあつたが、經濟機構の強化に伴ひ縣下三市商工會議所歩調を一にし時局下の商工業界を指導するの必要から縣當局の慫慂する處となり今十九日の會議所連絡會議でも『平商工會議所設立』が主題となつて居り、平市及平商工會議所の經營上に關する意見を聽取、愈々平商工會議所設立に乘出すことになつた

## 大地區制採用か

### 地域問題の研究積む

平市の商工業者中營業收益税十五圓以上納める商工會議所員の有資格者は約四百名でこの税額二萬六千圓で百分の二十五を負擔せしむるとして經營費が六千五百圓に上る現在他の會議所を見るに福島會議所一萬圓、郡山會議所一萬八千圓の經費を要して居り平市は經濟的に設立困難な事情にあるのと、平商工會がこれに替はるべき機能あつたのも影響してゐた

平商業地區を抱擁し內郷、好間、赤井、豐間等を加へて大地區商工會議所たらしむる計畫があり、市當局もこの案で進む方針のやうである然し地域を廣める場合商工大臣の認可を必要とするため縣當局の諒解を求める筈で近く發起人會を作り創立に關する正式手續きを執る模樣で遲くも年度內には實現するものと業界から期待かけられてゐる

した

協議事項

一、戰時商業道德の振起作興方策に關する意見研究（郡山）

二、福島縣實業教育振興に關する件（郡山）

三、上野新潟間直通列車運轉に關する請願の件（若松）

四、商工業組合中央會駐在員を三市に設置要望の件（平商工會）

五、縣令を以つて配給統制規則制定要望の件（平）

經費問題については

## 增田產業課長談

市の商工會議所は市役所が中心となつて計畫を進めることになつてゐるが强行することは商工業者を壓迫すると執られるので可成くは業者自体の自發的熱意に依りたいと考へてゐた設立が促進されぬ原因は有資格者が尠く經營問題が主として擧げられ『事變中だから……』と云ふ消極的關係もあつた然し經費問題は地域擴大に依つて解消するし、時局的に遲延を許されぬ狀態となつた爲業者事体が動き出して來たことは喜びに堪へぬ、地域問題は商工省の認可を必要とし、發起人會を作るなど急速に設立も困難と思ふが今度は日和見で無く實際に着手することになるだらう、時期の點はまだ判然としない

## 四市會議所

### 連絡會議開く

第四回縣商工會議所連絡會議は今十九日午前十時半から平市公會堂日本間に開會、福島，郡山、若松の三市商工會議所會頭、理事長並に縣から渡部商工課長和平主事等臨席、午前中は別頃平商工會議所設立に關して相互の意見を交換、晝食後連絡會議に移り左記議案を討議して午後四時頃閉會、一行は平市商工會の案內で內郷村の國寶白水阿彌陀堂參拜、四倉港視察、同町海氣館で懇親會を開いて散會する

## 廿二日定例常會 開く

### 區內會の意見上通

石城郡協力會議は廿二日午前十時から市公會堂に開會、平市常會は引續き翌廿三日午後一時から同樣公會堂日本間に開催する、縣當局からは兩日共神內學務部長以下第四班係阿部主事補、松本農林技手和泉屬が臨席する筈で縣當局の提出せる協議題は次のやうなものである

1、銃後奉公專任職員設置奬勵ニ關スル件

2、農村幹部並農村婦人幹部錬成講習會ニ關スル件

3、肥料飼料增産運動ノ件

4、國民貯蓄法組合法ノ實施ニ關スル件

5、六月郡市常會協議事項處理ニ關スル件

6、冠婚葬祭新樣式ニ關スル件

7、紙芝居ノ普及指導ニ關スル件

尙市常會の提案事項は各區內會から取纏め當日の常會へ下情上通することになつた

## 平地區商組

### 十八日登記完了

平商業組合は正式縣の許可指令に接し未拂込組合員の整理を急いでゐたが一切の手續き了したので十八日登記手續きを執つた

今度は部會の役員に對する縣當局の指名あり次第、現在の各業種別商業組合をそれ／＼解散して地區商の部會へ移し配給業務を開始する筈で各部役員の指名を縣へ督促を發した

尙企業合同を結成してゐる米穀商組並に木炭商組は企業体だけその儘存置される譯である

## 白河高女

### 豐間で夏季鍛錬

白河高等女學校生徒約五十名は夏季鍛錬に來る八月五日より豐間海岸に於て一週間滯在海水浴その他の行事を行ふ事になつてゐる

## 產報顧問會

### 青年隊豫算決定

平產業報國會青年隊顧問會は昨十八日午後三時から平署に開催、十六年度豫算千八百六十五圓を決定、同青年隊員練習用自動車購入案を協議、今月中に自動車一台、木銃二十挺、ラッパ五挺並に訓練用具一式を購入することになつた

## 溢るゝ赤誠

### 恤兵部献金二件

內郷村宮磐城炭礦金坂療採炭夫半島人義城金一さん（四五）と息子の金光君（二〇）は昨年九月ごろから坑內に落てある抗木の端木を拾ひ集めて賣却した金二十圓を陸軍恤兵部へ……また平市古鍛冶町田子タツさん（三三）は湯錢その他を節約した金四圓五十八錢を陸軍恤兵部へ何れも十八日平署を通じ献金した

## 市常務委員會

## 豫算案審議

### 市民献立も發表

大政翼賛會平市常務委員會は二十一日午前十時から市會議事堂に開催、青壯年隊の職域別に依る商業部、農業部、工業部の外に前記三部門の何れにも屬せぬ人のため今度新たに『教化部』を制定することになつたのでこれを審議する外〃代用食と榮養〃を建前とする献立表に付いても協議する

この献立表は市教務課振興係が平保健所と連絡し月二、三回位の割で季節々々の献立表を作製しこれを區內會を通じ一般市民に配布、榮養食を實行させやうとするもの、當日の議案次の通り

△十六年度翼賛會平支部歲入歲出豫算の件△青壯年隊規程一部改正の件△國民貯蓄組合に關する件△榮養献立表配付に關する件△二毛作奬勵に關する件

## 四倉協會

### 事故防止の協議

四倉警察署管內自動車協會支部では今十九日午後一時より同署に役員會を開き八月一日から十一月三十日まで四ケ月間事故防止競爭が施行されるので打合せを行つた、尙四倉支部では本年四月若松市に開催され本縣自動車協會總會で無事故の表彰受けた優良支部である

## 五十圓

### 銃後會寄附

小名濱町中島鈴木豊議氏は十八日町役場銃後奉公會へ金五十圓を寄附した

## 實行組合長

### 增産と水稻管理の相談

平農事實行組合長會議は二十一日午後一時から公會堂に開くが當日は學校側に呼び掛けた干草の刈取り運動や縣から割當になつた大小麥增反、增收並に今度の降雨に對する稻作管理等について審議する

提出事項次の通り

△干草、堆肥增產運動に關する件△馬鈴薯統制に關する件△今後の稻作管理に關する件△大小麥增反增收運動に關する件△菜種の集荷配給に關する件△その他

## 魚類饑饉—何時解消

### 伊藤集荷部長さんの意見聽く

石城七濱共相次ぐ不漁から平海產物配給所へは殆んど魚類らしい品の入荷無く、各魚屋さんも閉店休業の狀態であつたが、昨十八日珍らしく鰹六百本（千五百本）生鯖百五樽（千八百九十貫）入荷、魚類饑饉に惱み拔いてゐる矢先だけに羽が生えたやうに忽ち飛散、市內の家庭を鯖で潤した

平海產物配給所が今月二日營業を開始して以來半ケ月間の魚類取扱ひ數量は四萬二千圓（內鹽干魚一萬八千圓）で沿岸一帶に亘る不漁の關係もあつたが豫定數量の半數に止り、このまゝでは一般消費者に迷惑をかけるばかりでなく配給所自体も營業困難になる處から魚類の集荷には一方ならぬ苦心を拂つてゐる

右について卜印伊藤集荷部長さんは語る

豊漁だと問題無く魚類も集るが、夏枯れ時とは云ひながら最近の不漁は驚く程で足りないものを集めようとするのだから骨が折れます、魚饑饉で市民の皆さんも不自由してゐることをお氣の毒に存じますが配給所では萬全の策を講じてゐるのですから暫らく我慢して下さい、昨日の如きも本縣の漁へ入つた廻船が、他縣より値段が安いと全部の水揚げに應じないやうな仕末ですから弱りました

## 海の記念日

### 四倉で海開祭

四倉町觀光協會と海岸脫衣組合聯合のもとに明二十日、海の記念日を期して午前十時半より新町脫衣場前海岸に於て海開祭を執行する

## 疑義を生じた

### 生產地の出荷統制

小名濱町漁業組合は出荷統制組合等事務を擔當し水揚魚介の荷割を縣の命令に基き京濱地方縣內及地元と夫々指令に應じ荷捌きして居るが、生產者は從來町營魚市場に水揚げすれば町代行部より直ちに金に換へる事が出來たが今度の出荷統制に見ると水揚げ魚介は組合に於て縣の命に依り荷割出荷し、代金が送附される迄は現金を請取る事が出來ない模樣で而して町營魚市場は使用料を町に支拂つて代行部の機關が停止されるのではないかとの說もあり、この成行きは各方面より注視されてゐるが、如斯制度を實施するとなれば廻船への支拂などには何等かの機構を構へる必要も生じ且つ漁業組合の事務は煩雜多岐となり代行部の仕事は漁業組合へ移行すると云ふ結果を生むに至るべく斯く成行きが進捗すれば從來の町、漁組、代行部の三角關係の上から出荷統制事務一切は現代行部に依囑して圓滿なる結論をつけるでないかと見る向も相當有力に唱られてゐる

## 四倉市

### 十八日店開き

四倉町商業組合野菜部では工費七百餘圓で町頭地內へ市場を新設、農繁期の爲開場を見合せてゐたが昨十八日より開場した、毎月十五日公休日と定め午前七時より市場を開始するが昨十八日の初取りひきには、大浦、草野方面よりの出荷尠く賣上高百三十餘圓であつた

今十九日小賣値は貫目△茄子八〇錢△人參七〇錢△馬鈴薯四〇錢△ナタ豆一圓△玉ネギ四〇錢△ネギ六〇錢△京菜三〇錢△筍子一圓△牛蒡八〇錢△キウリ九〇錢

## 市教育會

## 音樂講習

### 北村氏招き開催

平市教育部會主催の藝能料音樂講習會は今十九日午前八時半から第一國民校で開催、市內の四國民學校を主体とし郡內各學校音樂擔任者も多數出席した

講師は神戶市須磨國民學校訓導北村久雄氏で全國初等教育音樂教授の權威者で全國樂符指導研究聯盟を主宰してゐる實踐家である

## 明日の日曜

### 又も「曇り小雨模樣」

## 期待外れ

### 〃海の記念日〃

商店法休日と第三日曜を一度に迎へる土用入りの明二十日は特に〃海の記念日〃とあつて海邊へ押寄せる家族部隊の群れは相當數に達するものと見られ平驛でも當日は臨時增結を計畫中であつたが相にく天候不順で『曇り小雨模樣』の天氣豫報なので明日の日曜日も各濱とも人出が期待されてゐない

尙ほ〃海の記念日〃

生活の經驗談を聞く會を開き更に〃海〃への認識を深める外江名町では同町青年學校生徒の水泳大會も行ふ筈である

## 鄰組の寄附

### 廢品回收で十圓

四倉町本町第二區第二鄰組長庄司寅治氏外二十二名の組員が毎月廢品廻收を行なつて蓄めた金十圓を今十九日四倉町銃後奉公會に寄附した

## 暴利行爲—改正規則要點

### 抱合せ販賣にも斷

暴利行爲取締規則が改正され、抱合せ販賣や不當利純を抑制することになつたので、平商業組合では主要點を擧げて印刷し『賣るにも買ふにも分け合ふ』の標語を入れ全組合員へ配布、違背せぬやう注意を喚起した

消費者側のお客樣に對しても賣占めなどに自重を求めた

1、七月十日附商工農林省令第十一號を以て暴利行爲等取締規則が改正公布せられ同月十五日より實施する事になりました

最近の傾向として物の買占め賣惜が激增し又は抱合せ販賣や保險に加入する事を條件として物品を販賣すると云ふ樣な所謂負擔附販賣が行はれ其の結果として物資の偏在や配給の不公平を來し政府では遂に傳家の寶刀を揮つて暴利行爲等取締規則を改正して斯種行爲を禁止したのであります。

2、今回改正せられたる買占め賣惜み又は抱合せ販賣或は負擔附販賣行爲は所謂暴利行爲を含む事勿論ですが暴利行爲より範圍を廣くし營利の目的か或は其の業務に關する事をも含められました、例へば利益率高き商品を併せ販賣し或は統制ある商品に對し書畫、骨董、山林等の價格統制なきもを抱合せ販賣し不當に多額の利益を得んとする行爲、賣行不良品或は腐敗、變質し易き商品を併せ販賣して營業上の危險負擔を免れんとする行爲又は新規商品代用品等を不足物資に抱合せ販賣し自巳の商品の販路擴張を圖らんとする行爲等必ずしも所謂暴利を得るためでなくとも徒らに自己の利益の抱合せ販賣を行ひ或は抱合せにあらざれば販賣せずとなすが如き行爲も出來なくなつたのであります

3、以上の暴利行爲等取締規則に反して販賣行爲をなしたるものは三ケ月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處せられる事になつて居りますから販賣するに當つては商道に基き絕對に抵觸するが如き事なき樣充分自戒を願ひます。

4、店員、店の不遜に見える態度は直ちに改め一人のこらず親切な正しい賣買商業者として國難突破に邁進しませう。

[illegible]マルミ石鹸

。。お願ひ…同時に

消費者たる御客樣にも買占めなどの御要求をなさらぬ樣御自重を願はねばなりません。

平商業組合

## 一家から

## 赤痢二名

### 果實冷菓に注意

平市一丁目五番地松本藤太郎さん長男通君（一五）次男太平君（一〇）の兩君は十八日午後發熱診療の結果赤痢と決定した

打續く天候不順に冷菓子を食べたらしく市衛生課でも不良天候だけに徹底的消毒をなしたが特に果實冷菓等に充分注意するやう同課ではお母さん達へ望んでゐる

## 白木巡査

### 國婦へ十圓寄附

平署經濟巡査白木義長君はこの程同署を通じ平國防婦人會へ金十圓を寄附した

## 拾得物

### 落主は無いか

內郷村大字宮字町田五十三柳川チヨさんは去る九日同村地內でクローム十型時計を拾得、また同村大字閒字龍六十三大原タケ子さんは內郷村地內で黑の羽織一枚分の布在中の風呂敷包を拾得し何れもこの程平署へ届出た

## 暴行事件

### 懲役七年

双葉郡木戶村加藤政一（三三）の暴行事件公判は十六日午前十時平區に開き懲役七年求刑、判決は廿二日

## 小供部隊の健康地帶

## 小遊戯場設置

### 新田町鄰組で又もヒット

田町第三班新田町鄰組では組內の空地を借り受け少年鄰組などの奉仕作業で全市最初の小遊戯場を作り組內の幼少年五十名が嬉々として仲良く遊んでゐる

この遊戯場は僅かに奧行九間、間口四間の空地へ砂場と梯鐵棒、ブランコ、相撲土俵などを設けたもので北と南へ土堤を築き、一方に草花を植ゑるなど情操的方面にまで心を用ひて居り、砂場は特に二尺近くの深さとして枠を作り砂を充分に入れてイザ空襲と云ふ時はこの砂を全戶に配らうと云ふ、子供の健康保全と併せ一石二鳥の試みで、幼兒や少年が危險な遊びをしない點を全組員から感謝されてゐる

新田町鄰組は優良防空群として縣から表彰受けて居り全戶へ水槽を備へたのも最も早く、少年鄰組を結成させこれを善導、增產に一役買はせ空地へ野菜や草花を植栽するなど全市の鄰組でも範とする融和部落である

## 常習賭博

### 略式罰金決る

△罰金百圓、江名町中の作漁夫坂部武男（三六）△六十圓、小名濱町字中島料理店坂林なか（五五）△同三十圓、小名濱町橫町理髮業草野良太（四二）

## 平市慶弔錄

【婚姻】平市大字上平窪字原田三一七番地田久貞光（三二）さんと赤井村大字西小川字大澤田吉田ヨシ子（二一）さん

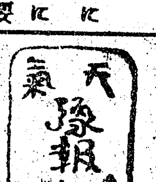
【出生】△平市立町二番地伊藤稻吉長男平吉さん△平市大字幕の內字一水口二十九番地鈴木正嘉二女光子さん△平市字七軒町二十九番地大河內彌亜郎長女千惠子さん

【死亡】平市字紺屋町八番地增田愿（三七）さん

（十九日）

| 【野菜】小賣値百匁 | |
|---|---|
| 人參 | 七錢 |
| 大根 | 四 |
| 牛蒡 | 八 |
| 玉葱 | 四、五 |
| 玉菜 | 三、五 |
| キウリ | 九 |
| ナス | 八 |
| トマト | 七 |
| 南瓜 | 八 |
| 馬鈴薯 | 四 |

| 【鮮魚】小賣値 | |
|---|---|
| 鰹 | 二五錢 |
| 鯖 | 八 |



今晩　北西の風曇り小雨模樣

明日　同じ

（二十日）

滿潮　前……　後三、三五

干潮　前八、二〇　後四、七五

女事務員兼雜務係

一名募集（二十才前後）

食事付三十圓給與

希望者ハ電話デ問合セラレ度シ

森合齒科醫院

植田町　電（植田）七一

## 公告

當社ハ昭和十六年七月二日臨時株主總會ノ決議ニ依リ解散致候ニ付當社ニ對シ債權ヲ有スル者ハ昭和十六年七月八日ヨリ仝年九月八日迄ニ債權ノ申出相成度候

若シ右期間中ニ債權ノ申出無之トキハ淸算ヨリ除外セラルベク候

右公告候也

昭和十六年七月八日

平市四丁目拾九番地（星野方）

株式會社平魚市場

右淸算人　野崎滿藏

皆川新一

松本一郎

星野庸治

---

弟愿儀病氣の處養生不相叶七月十七日午後二時死去致し候間御通知に代へ此段謹告仕候

追而來る廿日午後二時自宅ニ於テ告別式執行仕候

尙時局柄御供物等ノ儀ハ堅ク御辭退申上候

昭和十六年七月十九日

平市紺屋町八番地

兄　增田　之

外親戚一同

---

女給仕さん至急求む

年齢……十七才ヨリ三十才位迄

給料……三十圓、外にも收入あり

衣服……不用、上着貸します

希望者は至急本社へ御照會下さい

未經驗者も可

【電話六一二番にてもよろしい】

姓名在社

信濃善光寺

佐渡ケ島

團体募集

期日　昭和十六年八月十日（日）午前六時半驛發

會費　御一名樣金參拾八圓五十錢也

〔汽車賃、自動車、晝食、宿泊料ヲ含ム

宿泊所、新潟、佐渡長野（澁温泉）〕

人員　五十名限り・〆切八月八日

注意…〆切ノ都合上御早ク御申込ヲ乞フ

主催　福島縣磐城旅行團

平支部事務所　田町一の井　電話一六七